札幌学院大学様向け

パソコン導入教育テキスト

dynabook

目　次

１．　主な付属品の確認 ..... - 2 -
２．　保証書：保証について ..... - 3 -
３．　ノートパソコンの取扱いについて ..... - 4 -
４．　各部の名称 ..... - 6 -
５．　はじめて使うとき ..... - 10 -
６．　ＣＤ／ＤＶＤドライブ ..... - 12 -
７．　ユーザーアカウントの作成 ..... - 14 -
８．　サインアウト／サインイン ..... - 18 -
９．　コンピューター名の変更 ..... - 19 -
１０．　学内ネットワーク接続時の注意 ..... - 22 -
１１．　ネットワークへの接続（有線） ..... - 22 -
１２．　インターネットへの接続（有線） ..... - 23 -
１３．　無線ＬＡＮ ..... - 25 -
１４．　無線ＬＡＮ（インターネットへの接続） ..... - 26 -
１５．　Windows Update ..... - 28 -
１６．　電源を切る ..... - 29 -
１７．　トラブルが起こったとき ..... - 30 -
１８．　再セットアップ ..... - 31 -
１９．　ユーザーパスワード設定 ..... - 32 -
２０．　ユーザーアイコン画像の変更 ..... - 34 -
２１．　TransferJet™(トランスファージェット) ..... - 35 -

1．主な付属品の確認

ACアダプター

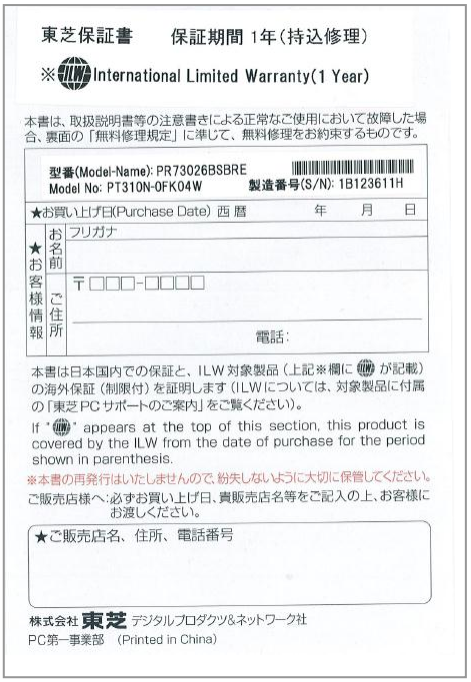
電源コード

取扱説明書

トランスファージェット
専用 SD カード

2．保証書：保証について

今回ご使用になる dynabook はキャンパスモデルとなっており、「4年保証」です。
保証書には期間が1年と記載されていますが、3年の延長保証となっています。



東芝保証書　保証期間 1年（持込修理）

※ International Limited Warranty(1 Year)

本書は、取扱説明書等の注意書きによる正常なご使用において故障した場合、裏面の「無料修理規定」に準じて、無料修理をお約束するものです。

型番(Model-Name): PR73026BSBRE
Model No: PT310N-0FK04W
製造番号(S/N): 1B123611H

★お買い上げ日(Purchase Date) 西 暦　年　月　日

★お客様情報　お名前　フリガナ

ご住所　〒□□□-□□□□

電話：

本書は日本国内での保証と、ILW 対象製品（上記※欄に が記載）の海外保証（制限付）を証明します（ILW については、対象製品に付属の「東芝 PC サポートのご案内」をご覧ください）。

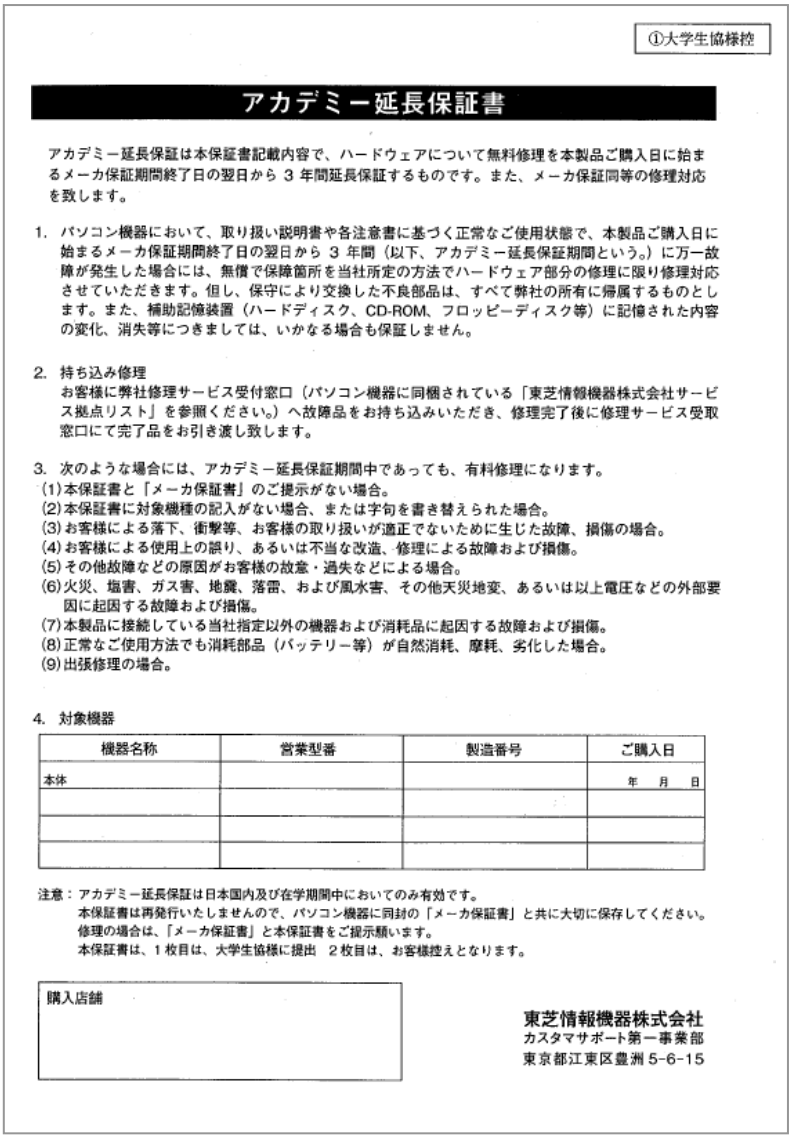
If " " appears at the top of this section, this product is covered by the ILW from the date of purchase for the period shown in parenthesis.

※本書の再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ご販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。

★ご販売店名、住所、電話番号

株式会社 東芝 デジタルプロダクツ&ネットワーク社
PC第一事業部　(Printed in China)



①大学生協様控

アカデミー延長保証書

アカデミー延長保証は本保証書記載内容で、ハードウェアについて無料修理を本製品ご購入日に始まるメーカ保証期間終了日の翌日から 3 年間延長保証するものです。また、メーカ保証同等の修理対応を致します。

1. パソコン機器において、取り扱い説明書や各注意書に基づく正常なご使用状態で、本製品ご購入日に始まるメーカ保証期間終了日の翌日から 3 年間（以下、アカデミー延長保証期間という。）に万一故障が発生した場合には、無償で保障箇所を当社所定の方法でハードウェア部分の修理に限り修理対応させていただきます。但し、保守により交換した不良部品は、すべて弊社の所有に帰属するものとします。また、補助記憶装置（ハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスク等）に記憶された内容の変化、消失等につきましては、いかなる場合も保証しません。

2. 持ち込み修理
お客様に弊社修理サービス受付窓口（パソコン機器に同梱されている「東芝情報機器株式会社サービス拠点リスト」を参照ください。）へ故障品をお持ち込みいただき、修理完了後に修理サービス受取窓口にて完了品をお引き渡し致します。

3. 次のような場合には、アカデミー延長保証期間中であっても、有料修理になります。
(1)本保証書と「メーカ保証書」のご提示がない場合。
(2)本保証書に対象機種の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。
(3)お客様による落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
(4)お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
(5)その他故障などの原因がお客様の故意・過失などによる場合。
(6)火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは以上電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
(7)本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
(8)正常なご使用方法でも消耗部品（バッテリー等）が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
(9)出張修理の場合。

4. 対象機器

機器名称	営業型番	製造番号	ご購入日
本体			年　月　日

注意：アカデミー延長保証は日本国内及び在学期間中においてのみ有効です。
本保証書は再発行いたしませんので、パソコン機器に同封の「メーカ保証書」と共に大切に保存してください。
修理の場合は、「メーカ保証書」と本保証書をご提示願います。
本保証書は、1 枚目は、大学生協様に提出　2 枚目は、お客様控えとなります。

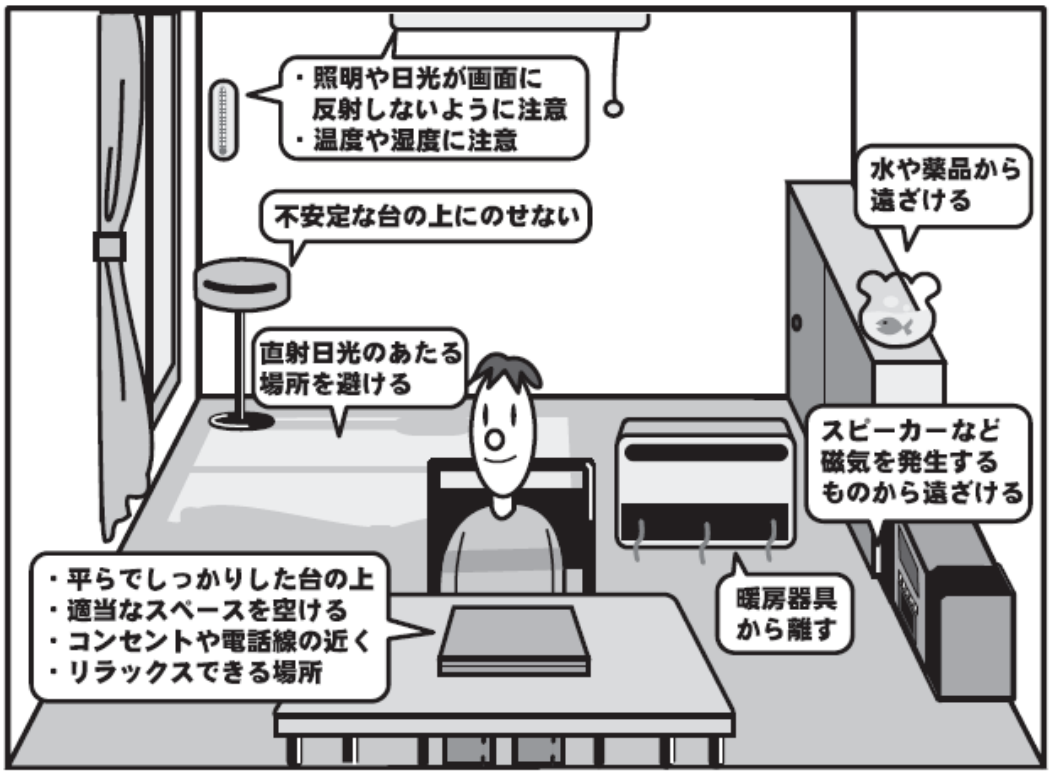
購入店舗

東芝情報機器株式会社
カスタマサポート第一事業部
東京都江東区豊洲 5-6-15

3．ノートパソコンの取扱いについて

（1） パソコンに最適な環境とは

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。



次の点に注意して置き場所、使う場所を決めて下さい。

- **安定した場所に置きましょう。**
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- **温度や湿度が高いところは避けましょう。**
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- **強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。**
  磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- **照明や日光があたる位置も考慮しましょう。**
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- **ラジオやテレビの近くで使用しないでください。**
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- **無線通信機器から離してください。**
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- **パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。**
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

（2） パソコン本体について

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密機器を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取扱いにはご注意ください。
- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

（3） ハードディスクについて

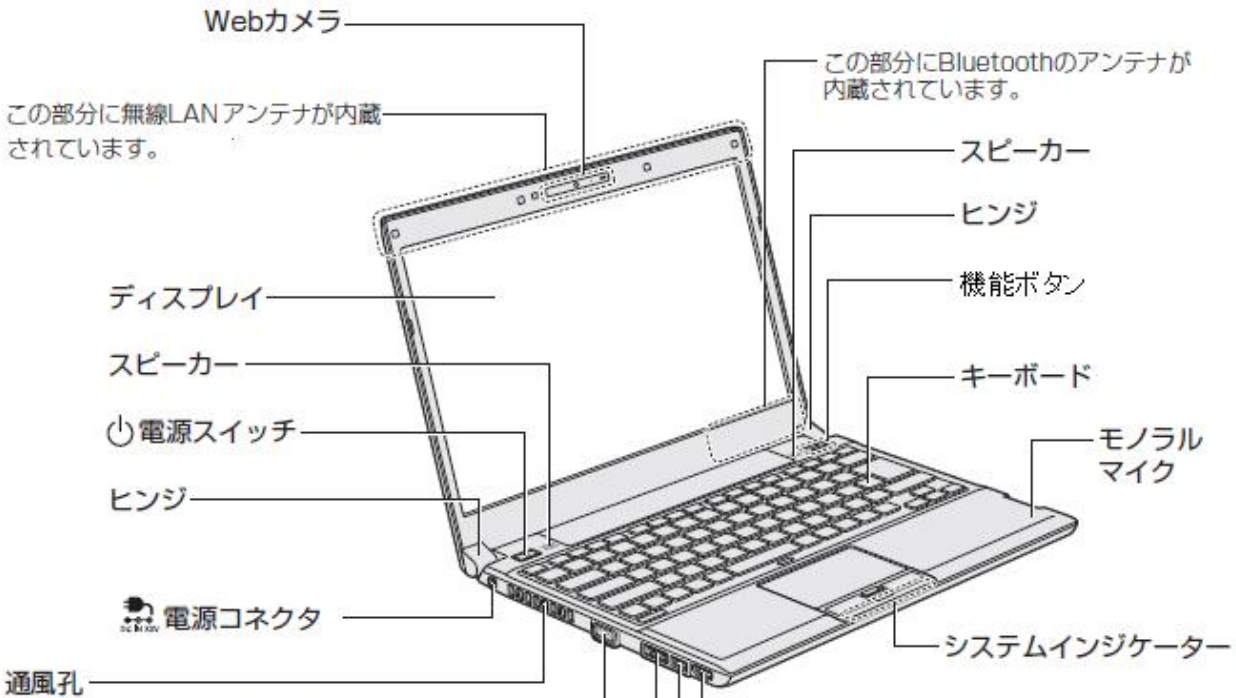
- Disk LED 点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- 磁石、スピーカー、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が 変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

（4） パソコン本体を持ち運ぶとき

- パソコン本体を持ち運ぶときは、必ず SD カードスロットから SD メモリーカードを取り出してください。SD カー ドスロットや SD メモリーカードが破損するおそれがあります。
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブにCD／DVDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出して下さい。

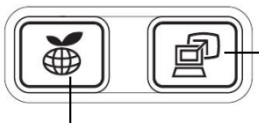
4．各部の名称

（1） 前面図



*1 設定を行うと、パソコン本体の電源が入っていない状態でも、USBコネクタから外部機器に電源を供給することができます。

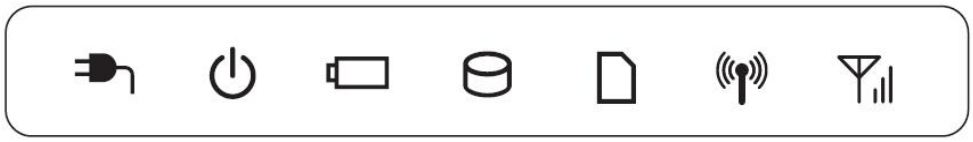
（2） 機能ボタン



東芝プレゼンテーションボタン
「Windows モビリティセンターの表示選択画面」を起動します。

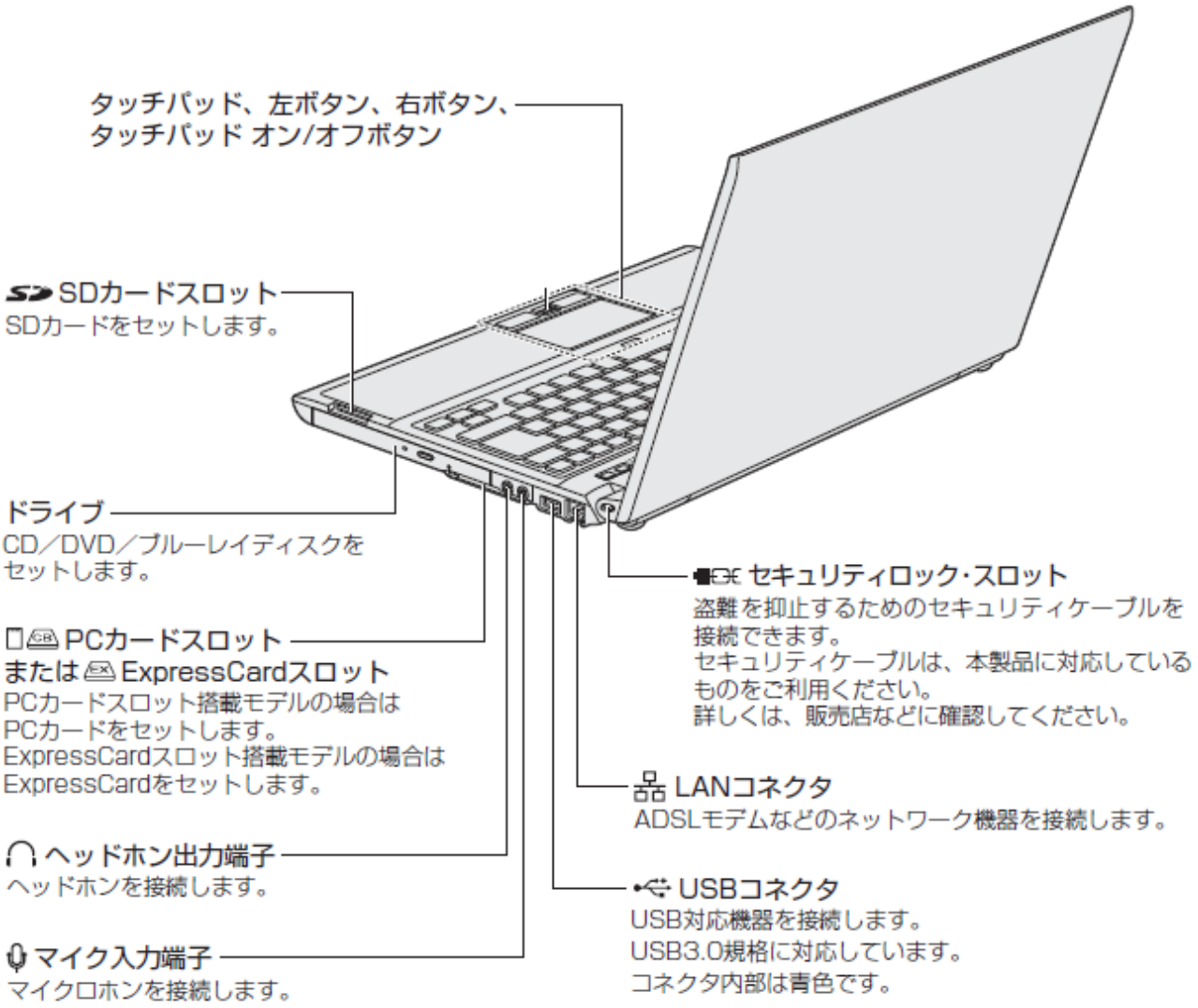
eco ボタン
パソコンの消費電力をおさえる機能
eco モードの ON/OFF を切り替えます。

（3） システムインジケーター

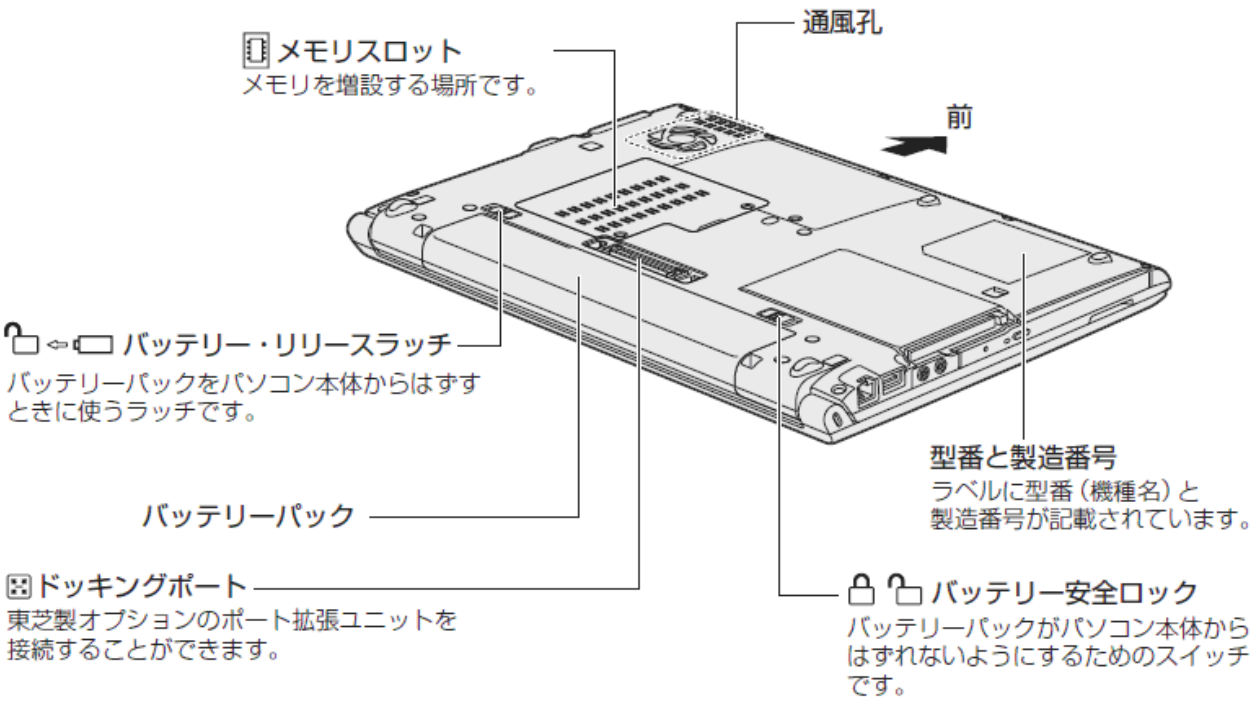


	DC IN LED	電源コード接続の状態 緑色の点灯 ... : ACアダプターを接続している 消灯 ..... : ACアダプターを接続していない
	Power LED	電源の状態 緑色の点灯 ..... : 電源ON オレンジ色の点滅..... : スリープ中 消灯 ..... : 電源OFF、休止状態
	Battery LED	バッテリーの状態 緑色の点灯 ..... : 充電完了 オレンジ色の点灯..... : 充電中 オレンジ色の点滅..... : 充電が必要
	Disk LED	内蔵ハードディスクやドライブ、eSATA 機器などにアクセスしている
	SD Card LED	SD カードスロットにアクセスしている
	ワイヤレスコミュニケーション LED	無線通信機能の状態
	WiMAX LED	WiMAX の通信の状態 ※WiMAX モデルのみ

（4） 背面図


タッチパッド、左ボタン、右ボタン、
タッチパッド オン/オフボタン
SDカードスロット
SDカードをセットします。
ドライブ
CD／DVD／ブルーレイディスクを
セットします。
PCカードスロット
または ExpressCardスロット
PCカードスロット搭載モデルの場合は
PCカードをセットします。
ExpressCardスロット搭載モデルの場合は
ExpressCardをセットします。
ヘッドホン出力端子
ヘッドホンを接続します。
マイク入力端子
マイクロホンを接続します。
セキュリティロック・スロット
盗難を抑止するためのセキュリティケーブルを
接続できます。
セキュリティケーブルは、本製品に対応している
ものをご利用ください。
詳しくは、販売店などに確認してください。
LANコネクタ
ADSLモデムなどのネットワーク機器を接続します。
USBコネクタ
USB対応機器を接続します。
USB3.0規格に対応しています。
コネクタ内部は青色です。

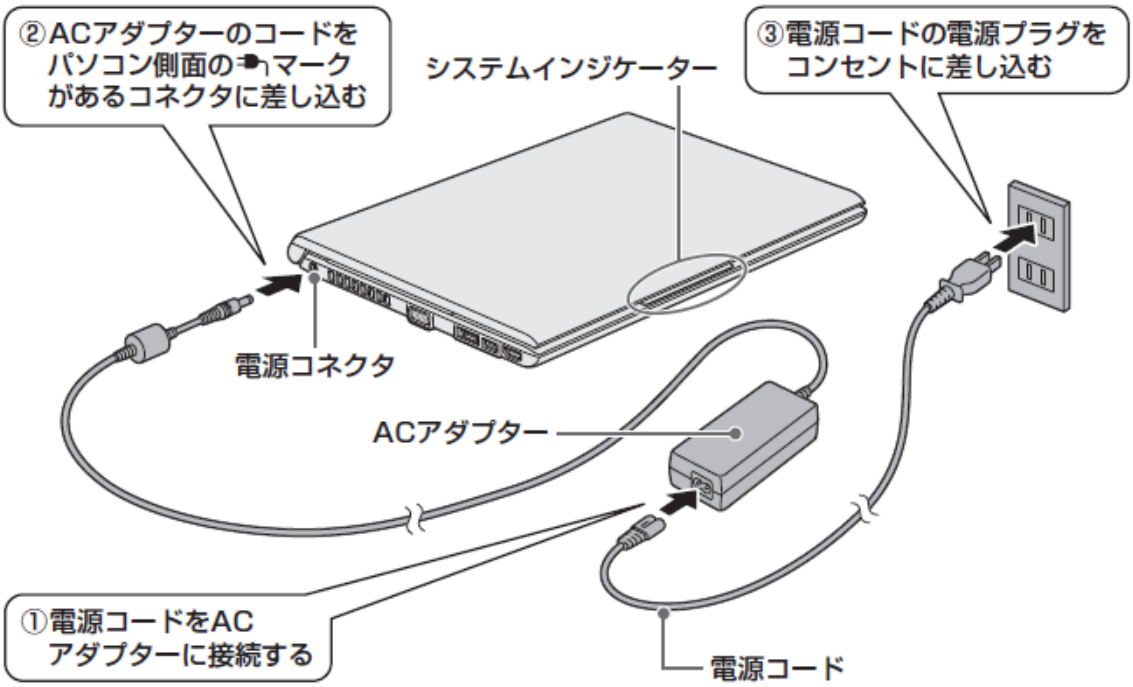
（5） 裏面図


メモリスロット
メモリを増設する場所です。
通風孔
前
バッテリー・リリースラッチ
バッテリーパックをパソコン本体からはずすときに使うラッチです。
型番と製造番号
ラベルに型番（機種名）と製造番号が記載されています。
バッテリーパック
ドッキングポート
東芝製オプションのポート拡張ユニットを接続することができます。
バッテリー安全ロック
バッテリーパックがパソコン本体からはずれないようにするためのスイッチです。

5．はじめて使うとき

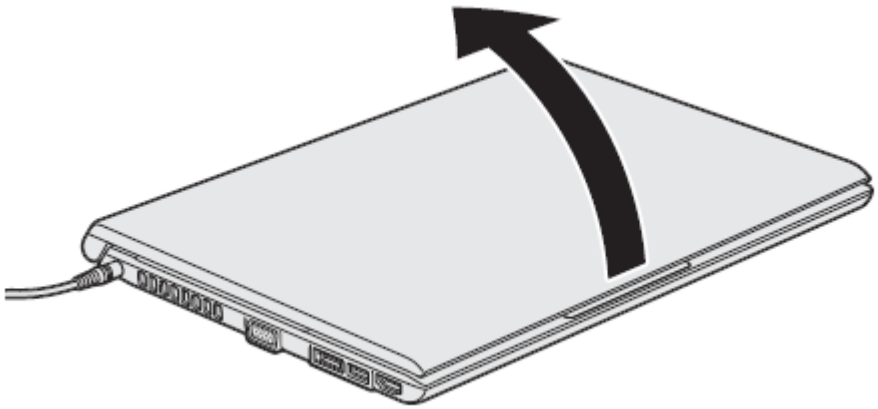
（1） ACアダプターの接続

次の図の①→②→③の順で行ってください。



（2） パソコンのディスプレイを開ける

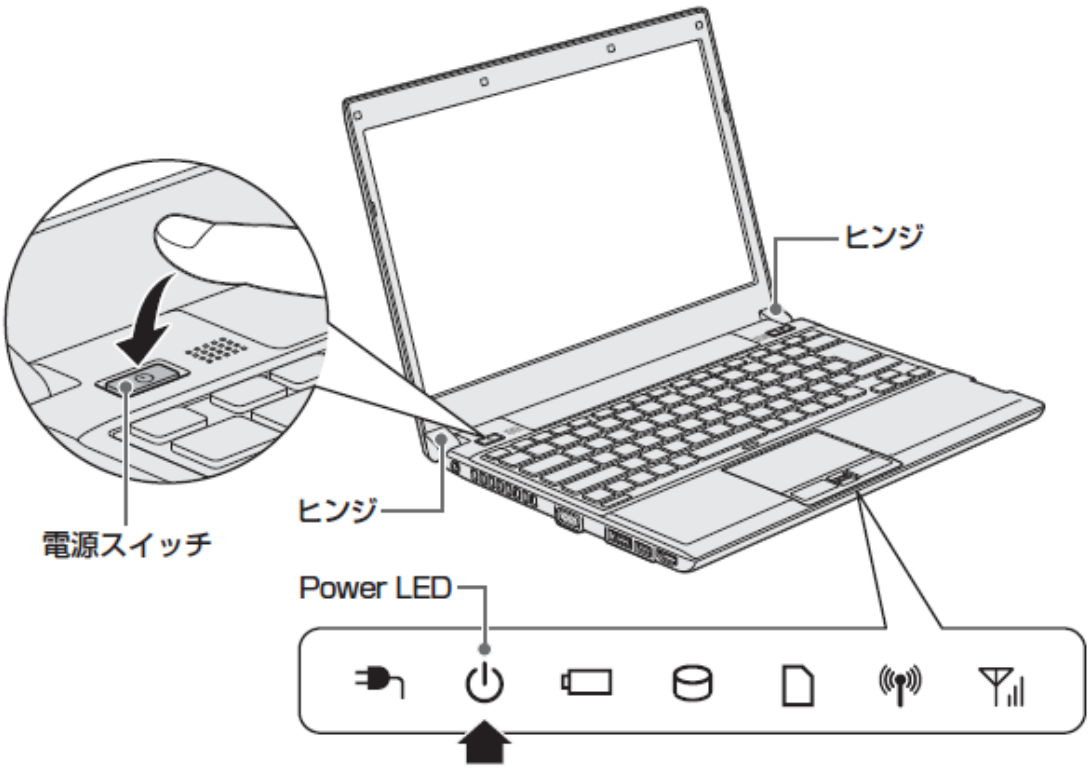
ディスプレイを開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ(画面)部分にはふれないようにしてください。



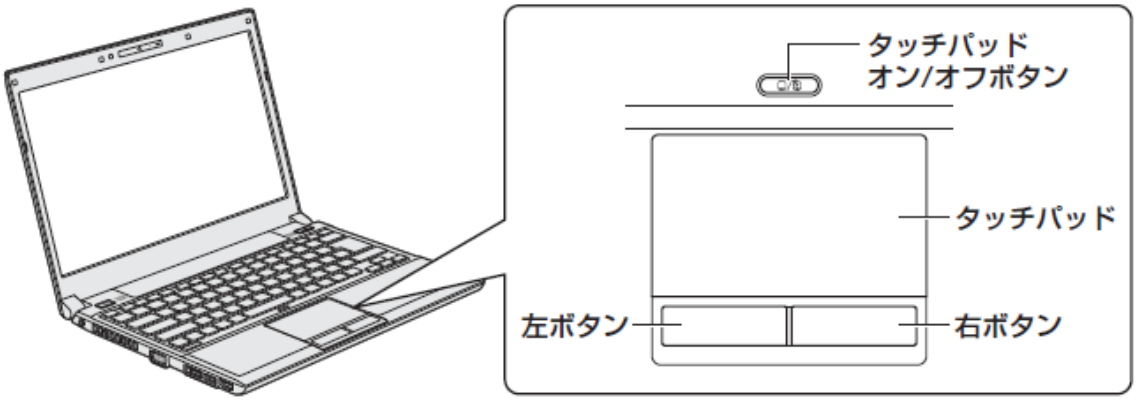
片手でパームレスト(キーボードの手前部分)をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

（3） 電源の投入

電源スイッチを押してください。Power LED が緑色に点灯します。

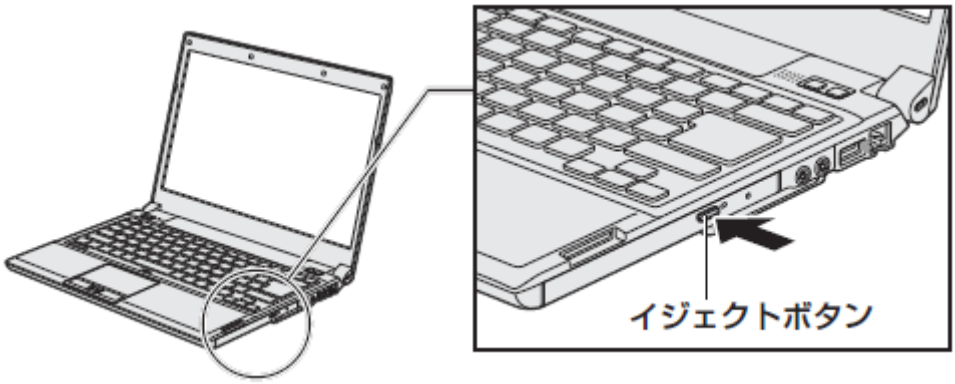


カーソルの移動やボタン等の選択（クリック）にはタッチパッドと左ボタンを使用してください。



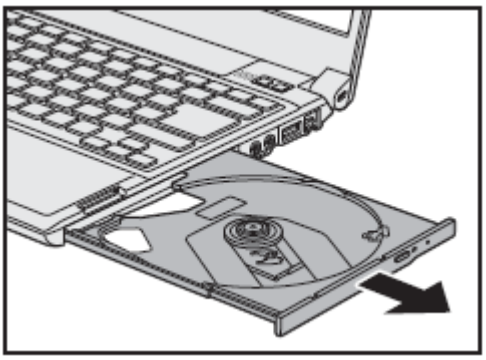
6．ＣＤ／ＤＶＤドライブ

（１） 使うとき（セットの仕方）

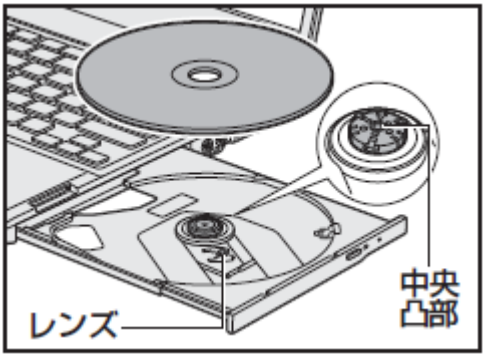


イジェクトボタンを押します。ディスクトレイが少し出てきます。
※パソコン本体の電源が入った状態で操作します。

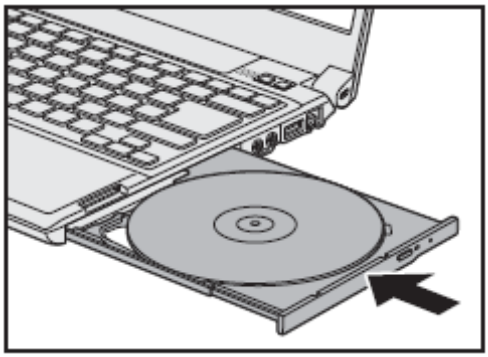
CD/DVD をのせるトレイを引き出します。



CD/DVD の穴の部分をディスクトレイの中央凸部に合わせ、上から押さえてセットします。
※「カチッ」と音がしてセットされている事を確認してください。



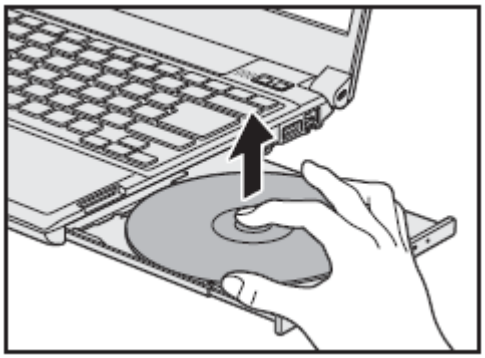
「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻します。



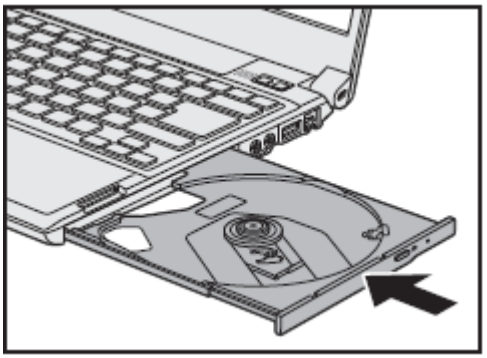
（2） 取り出し方

イジェクトボタンを押します。ディスクトレイが少し出てきます。
※パソコン本体の電源が入った状態で操作します。
ディスクトレイを引き出す
　CD/DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

中央凸部を押さえながら、CD/DVD を上に持ち上げます。



「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻します。



7．ユーザーアカウントの作成

（1） アカウントの作成

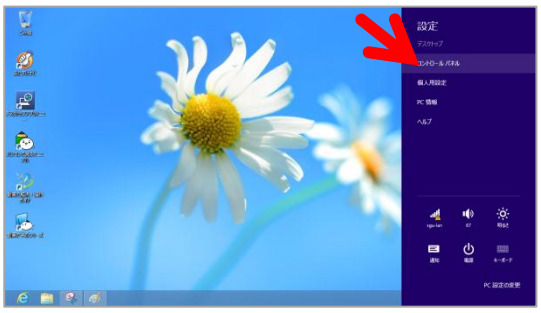
① 電源を入れ、スタート画面を表示します。

② デスクトップボタンをクリックします。

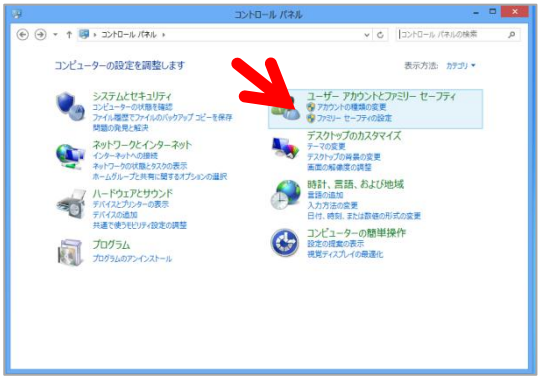
③ 画面右端をなぞり、チャームを表示します。

④ 設定ボタンをクリックします。

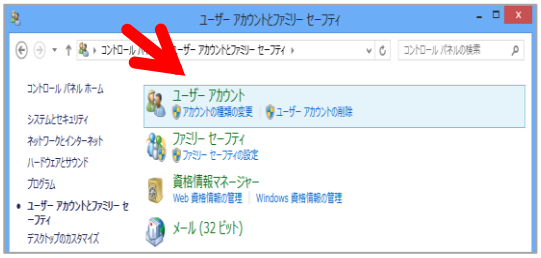
⑤ 「コントロールパネル」をクリックします。



⑥ ユーザーアカウントとファミリーセーフティをクリックします。



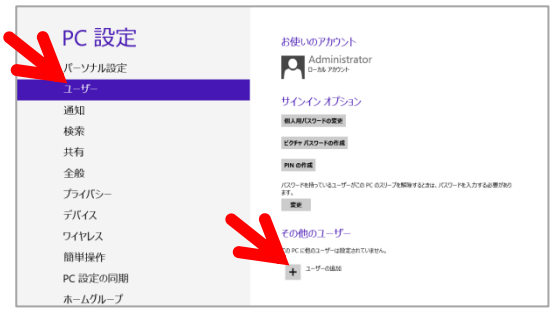
⑦ アカウントの種類の変更をクリックします。



⑧　PC設定で新しいユーザーを追加します。

⑨　ユーザーをクリックします。

⑩　ユーザーの追加をクリックします。

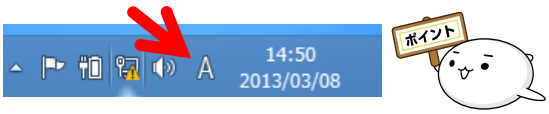


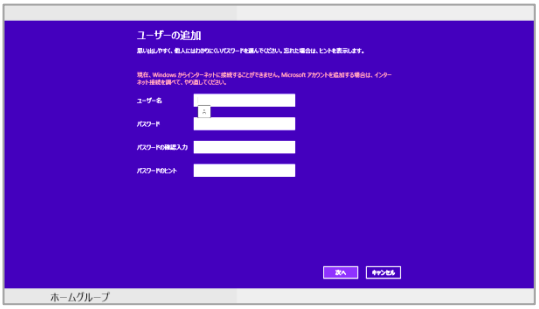
⑪　ユーザー名を入力します。

ユーザー名は自分の学籍番号です。(7 桁)

アルファベットは半角大文字、数字も半角です。

このとき、日本語入力OFFの状態を確認してください。





⑫　パスワードを入力します。

⑬　パスワードの確認を入力します。

⑭　パスワードのヒントを入力します。

この欄も必須です。

⑮　入力後、 次へ ボタンをクリックします。

⑯　作成したユーザー名を確認します。

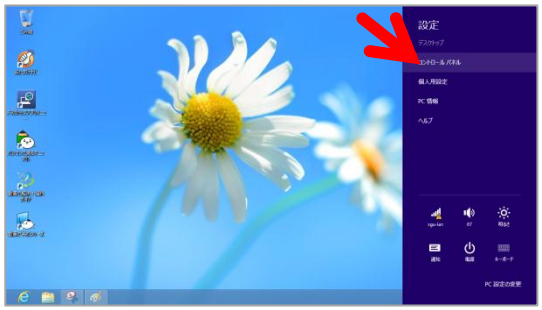
⑰　確認後 完了 ボタンをクリックします。

（2） アカウントの種類の変更

アカウントの種類を「管理者」に変更しましょう。

① デスクトップ画面でチャームを表示します。

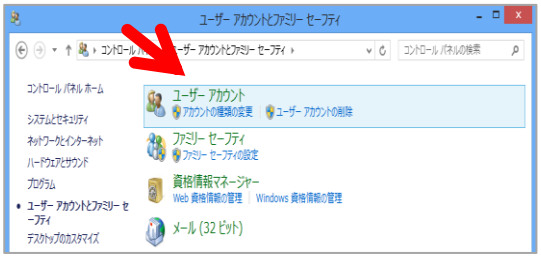
② 設定ボタンをクリックします。



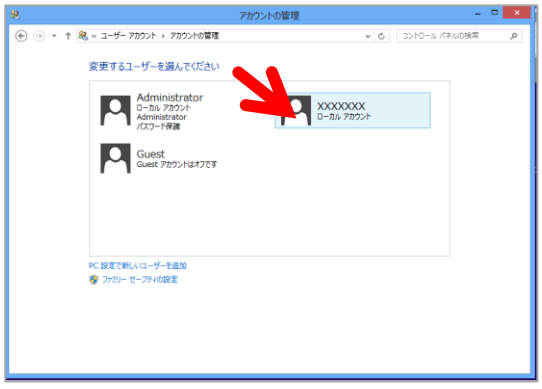
③ 「コントロールパネル」をクリックします。

④ ユーザーアカウントとファミリーセーフティをクリックします。

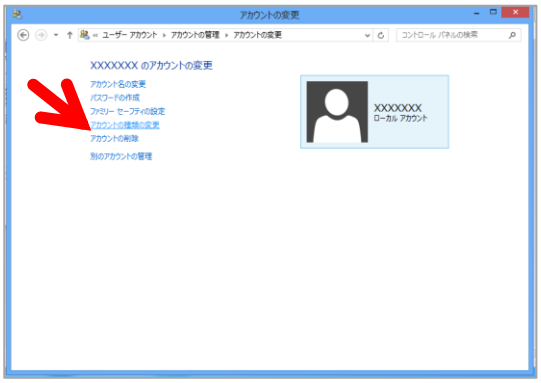
⑤ アカウントの種類の変更をクリックします。



⑥ 作成したアカウントをクリックします。
学籍番号と「ローカルアカウント」と表示されています。

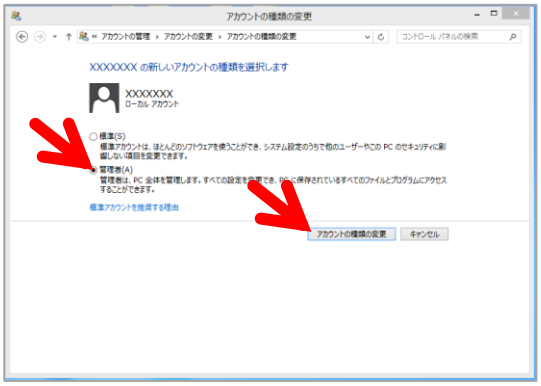


⑦ 「アカウントの種類の変更」をクリックします。

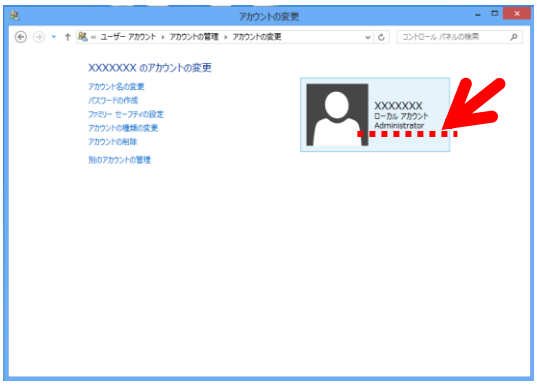


⑧ 管理者をクリックします。

⑨ アカウントの種類の変更ボタンをクリックします。



アカウントの種類が変わり、ローカルアカウントの下の表示が「Administrator」に変更されたことを確認します。

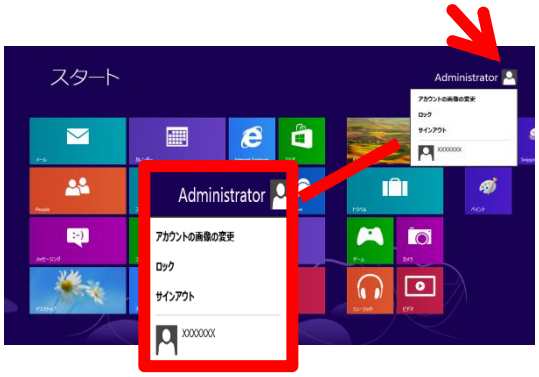


8. サインアウト／サインイン

（1） アカウントの切り替え

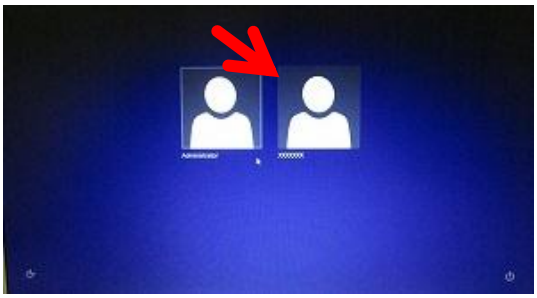
① アカウントアイコンをクリックします。

② 「サインアウト」をクリックします。



③ 作成したアカウント（自分の学籍番号）をクリックします。

④ パスワード入力画面が出てきましたら、設定したパスワードを入力してサインイン完了になります。



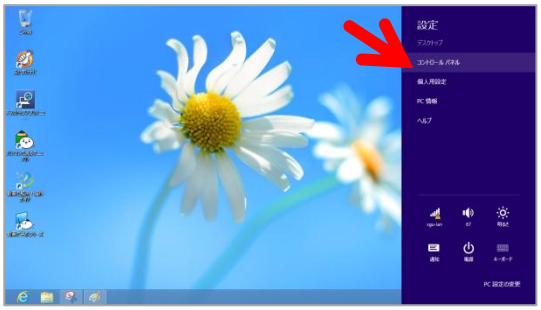
アカウントの作成後、1回目のサインインでは時間が少しかかるかもしれませんが、2回目以降は素早く起動します。

9. コンピューター名の変更

① 画面右端をなぞり、チャームを表示します。

② 設定ボタンをクリックします。

③ 「コントロールパネル」をクリックします。

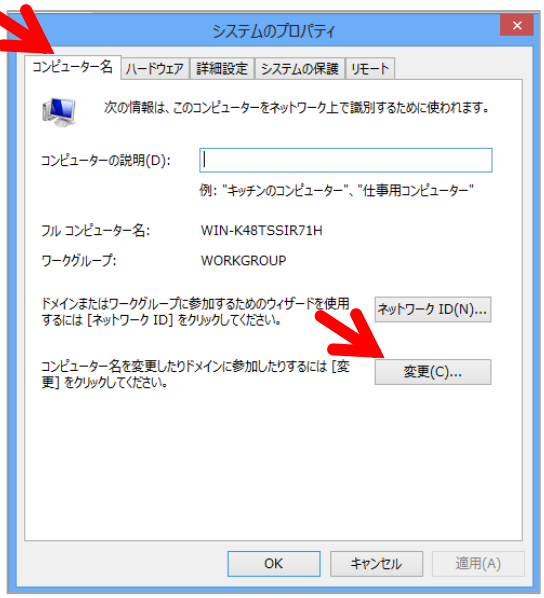


④ 表示方法のカテゴリ▼をクリックし、小さいアイコンに変更します。

⑤ システムボタンをクリックします。

⑥ 設定の変更ボタンをクリックします。

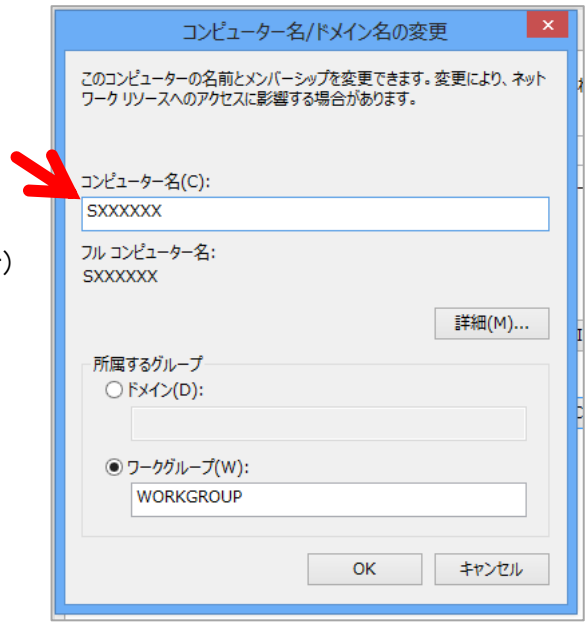
⑦　システムのプロパティダイアログボックスの
コンピューター名タブをクリックします。



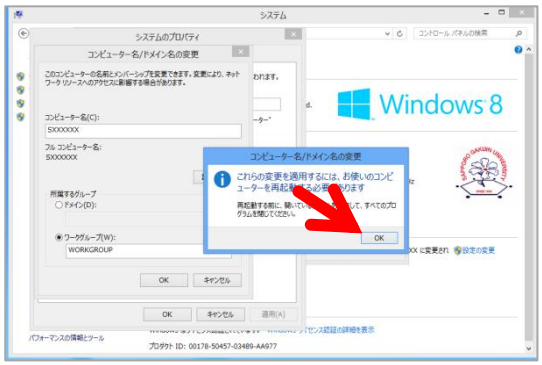
⑧　変更ボタンをクリックします。

⑨　日本語入力がＯＦＦ状態かを確認します。

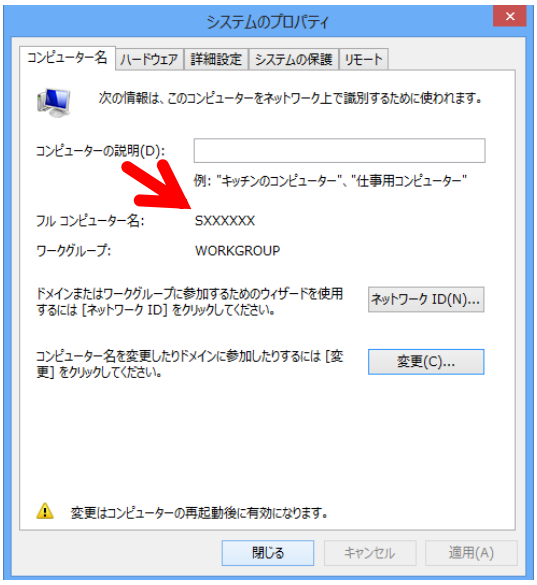
⑩　コンピューター名を半角大文字で入力します。
コンピューター名は自分の学籍番号を入力します。(7 桁)



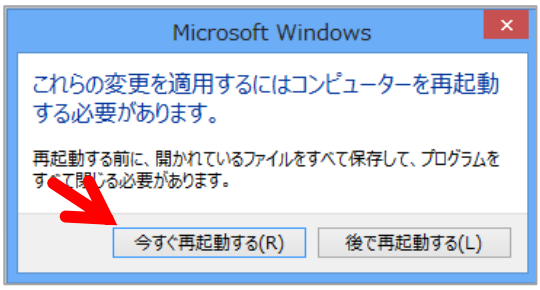
⑪　再起動のメッセージが表示されますので、
ＯＫ ボタンをクリックします。



⑫ システムのプロパティダイアログボックスの
コンピューター名が変更されたことを確認します。



⑬ 今すぐ再起動するボタンをクリックします。



１０．　学内ネットワーク接続時の注意

有線・無線両方のLANを同時に使用すると大学内のネットワークに障害が発生する場合があります。
学内のネットワークに接続する場合は、有線か無線のどちらかを使用してください。

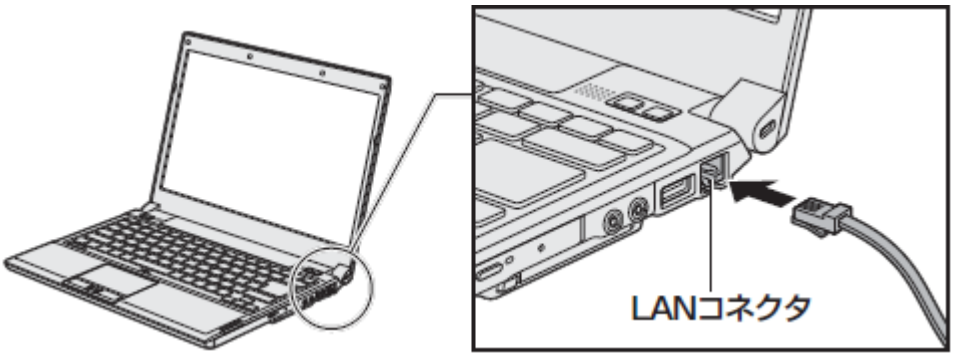
有線LANを使用する場合は無線LANのスイッチをOFFにします。

無線LANを使用する場合はLANケーブルを外します。

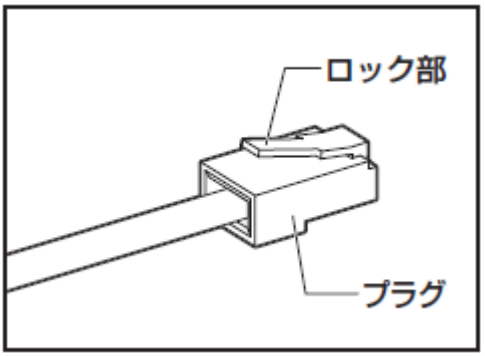
１１．　ネットワークへの接続（有線）

※無線LANがOFFになっていることを確認します。

① LANケーブルをパソコンのLANコネクタに差し込みます。



② ロック部を下にして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。



１２．　　インターネットへの接続（有線）

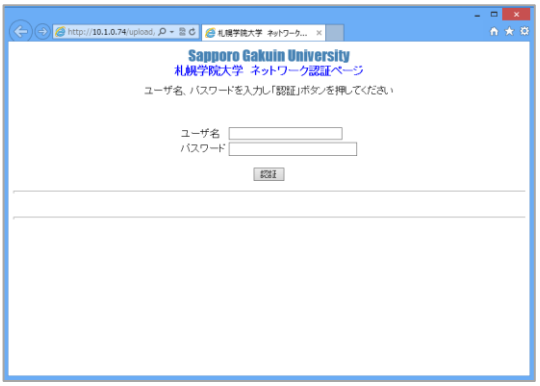
※無線LANがOFFになっていることを確認してください。

① LANケーブルをパソコンのLANコネクタに差し込みます。

※ネットワークの接続がされていない場合は右下のタスクトレイに アイコンが表示されます。

② デスクトップ画面の場合は、タスクバーにある Internet Explorer ボタンをクリックします。

③ 大学のネットワークログイン画面が表示されます。

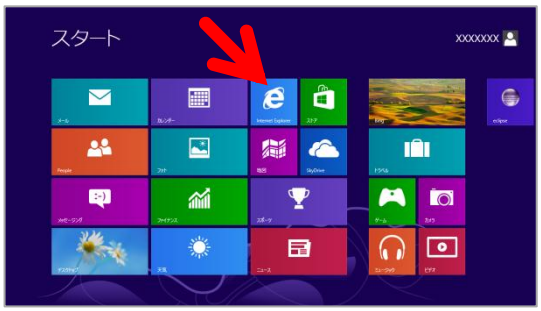


④ 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

※ ユーザー名は学籍番号です。
※ 初期パスワードは自分の生年月日です。
　年は西暦４桁・月２桁・日２桁です。
　例：１９９４年（平成６年）５月１日の場合
　19940501 がパスワードとなります。

⑤ 「認証」をクリックします。

スタート画面の Internet Explorer ボタンから起動した場合は、画面のデザインが少し違いますが、操作方法は同じです。



⑥ 認証に成功すると右図と同じ画面が表示します。

⑦ ログイン時のパスワードを保存するか、しないかのメッセージが表示されます。

⑧ はい または いいえ のいずれかを選択してください。

⑨ 大学のホームページが表示され、インターネットが使用できるようになります。

１３.　　無線ＬＡＮ

※ 注意事項

（１）　無線LANを使ってはいけない場所

次のような場所では無線通信機能を OFF にしてください。

◆　病院などの医療機関内、医療用電気機器の近く、航空機内。
　　電波が影響を及ぼし、電子機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

（２）　使い方

①　※LAN ケーブルが接続されていない事を確認します。

②　FN キーを押したまま F8 キーを押すたびに、大きく表示されるアイコンが切り替わります。

③　無線 LAN のアイコンをONにします。
　　(Wi-Fi のアイコン)が大きく表示されて状態で FN キーを放すと、無線 LAN 機能の ON/OFF が切り替わります。

④　システムインジケーターを確認します。

⑤　ON に切り替わると、ワイヤレスコミュニケーション　LED が点灯します。

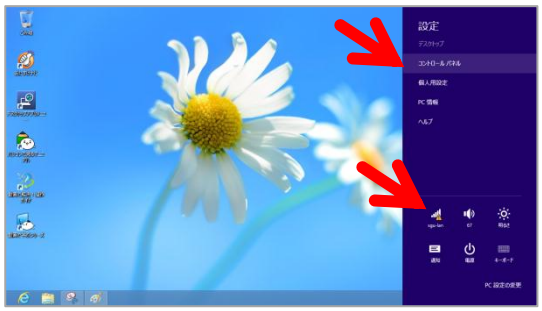
１４．　　無線ＬＡＮ（インターネットへの接続）

① デスクトップ画面でチャームを表示します。

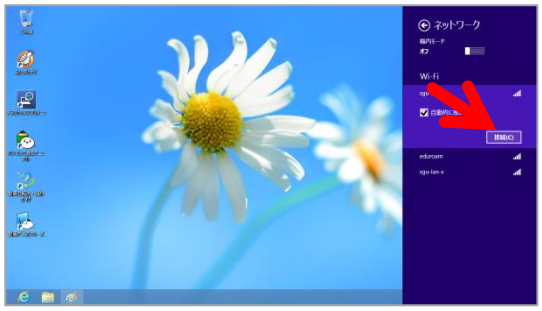
② 設定ボタンをクリックします。

③ ネットワークボタンをクリックします。

④ sgu-lan をクリックします。



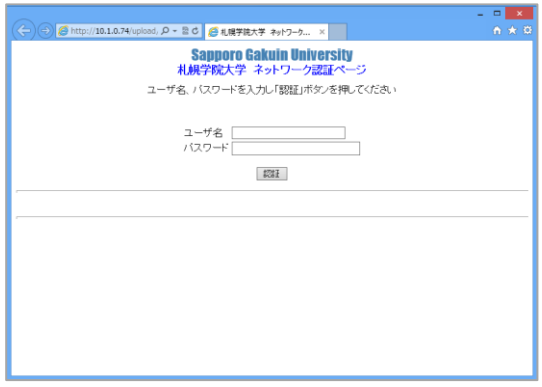
⑤ 接続ボタンをクリックします。



⑥ デスクトップ画面の場合は、タスクバーにある Internet Explorer ボタンをクリックします。

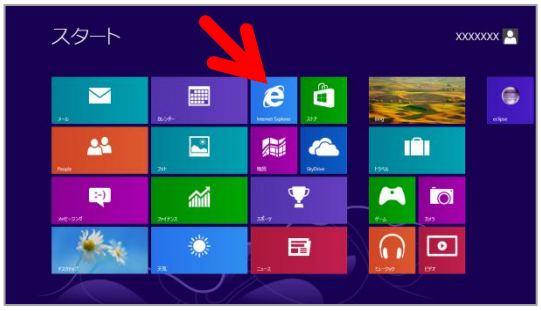
⑦ 大学のネットワークログイン画面が表示されます。

⑧ 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。



※ ユーザー名は学籍番号です。
※ 初期パスワードは自分の生年月日です。
　年は西暦４桁・月２桁・日２桁です。
　例：１９９４年（平成６年）５月１日の場合
　19940501 がパスワードとなります。

⑨ 「認証」をクリックします。



スタート画面の Internet Explorer

ボタンから起動した場合は、画面のデザインが少し違いますが、操作方法は同じです。

⑩ 大学のホームページが表示され、インターネットが使用できるようになります。

１５．　Windows Update

ソフトウェアは製品化した後もバグや環境の変化によって不具合等が発見されることがあります。開発元はこれらの問題の修正や新機能を実装するため、定期的にソフトウェアの修正プログラムを配布しています。

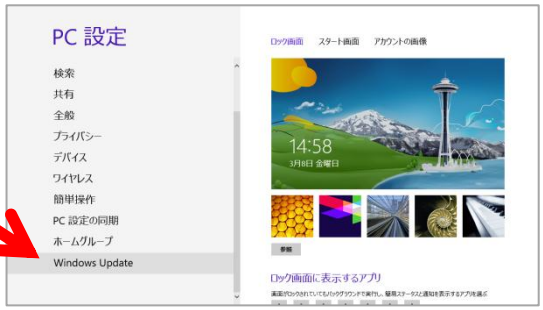
不具合の中にはデータやシステムの破壊に繋がる致命的なものがあります。ウイルス対策ソフトがインストールされているから安心というわけではありません。定期的に「WindowsUpdate」を行って、更新プログラムがないか確認しましょう。

① スタート画面よりチャームを表示します。

② 設定ボタンをクリックします。

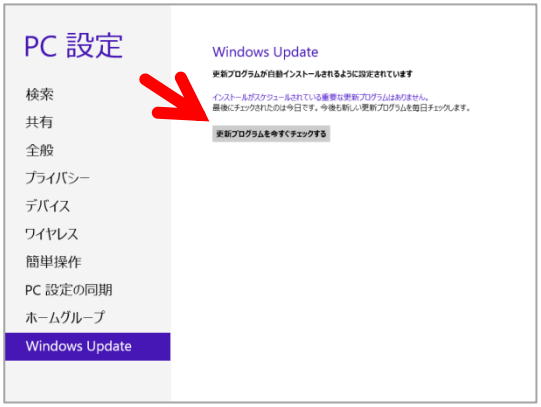
③ PC設定の変更ボタンをクリックします。

④ 「WindowsUpdate」をクリックします。



⑤ 更新プログラムを今すぐチェックするボタンをクリックされます。

⑥ 「更新プログラをチェックしています」のメッセージが表示します。
更新プログラムのダウンロードとインストールが行われ、WindowsUpdate　終了後に再起動メッセージが表示される場合があります。その際は、画面の指示に従って、再起動してください。



１６.　　電源を切る

Windows を終了する場合（電源 OFF）は必ず正しい手順で操作してください。正しい操作で電源を切らない場合はパソコンが故障したり、データが破損したりする恐れがあります。

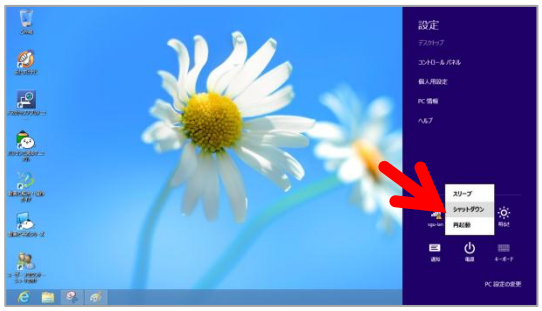
「終了」の操作はいくつか方法があります。ここでは代表的な操作方法を説明します。

① デスクトップ画面から、チャームを表示します。

② 設定ボタンをクリックします。

③ 電源ボタンをクリックします。

④ シャットダウンをクリックします。



⑤ スタート画面も同様で、チャームを表示し、設定ボタンをクリック。電源ボタンをクリックし、シャットダウンをクリックします。

⑥ また、デスクトップ上で ALT キーを押しながら F4 キーを押す方法もあります。この方法では素早く「シャットダウン」や「スリープ」、「再起動」が実行できます。

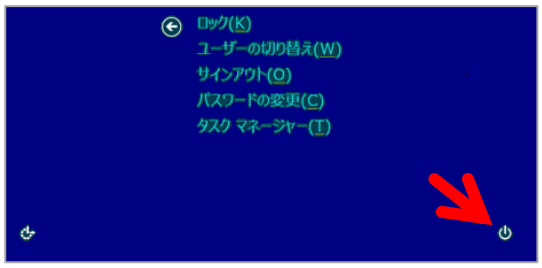
１７．　　トラブルが起こったとき

パソコンの操作中に突然、カーソルが動かなくなったり、クリック等の操作が行えなくなった際は、以下の操作を行い対処してください。

（１）　キーボードが不能な場合

① キーボードより、Ctrl キーを押しながら、Alt キーと Del キーを押します。

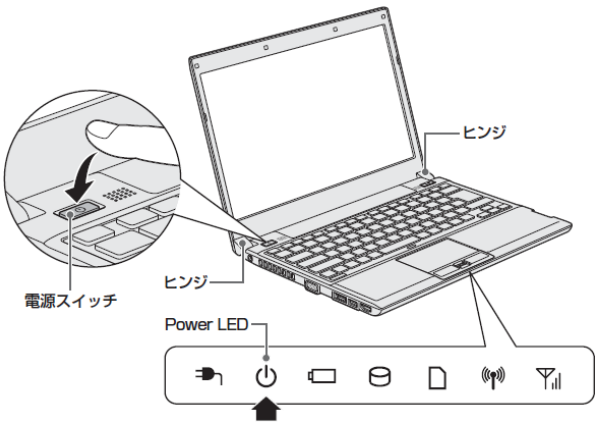
② 右下の電源マークをクリックし、シャットダウンを選択しシャットダウンをクリックします。



（２）　操作がなにもできない場合

電源スイッチを5秒以上押して Windows を強制終了してください。
強制終了を行うと保存していないデータは消失します。

電源スイッチを5秒以上押したままにすると、
Power LED が消灯します。



１８.　　再セットアップ

Windows が正常に起動しなくなった際の対処法として、リカバリハードディスクを使用することにより、工場出荷時の状態に復旧する事ができます。

（1） 備 考

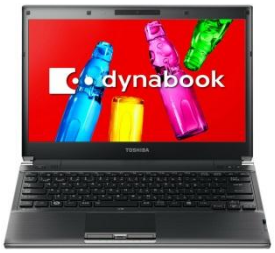
在学中の再セットアップにつきましては、「パソコンサポートデスク」で対応しています。

（2） 注 意

今回ご購入いただいたパソコンは特別仕様となっており、Microsoft Office 等のソフトのインストールや学内の LAN 設定がされています。リカバリハードディスクで再セットアップを行った場合は、これらのソフトや学内 LAN の設定は復元されません。また作成したデータも消えてしまいます。

リカバリハードディスクで復元されない主なソフト

- Microsoft Office 2007
- Microsoft Visual Studio 2012
- 秀丸
- Eclipse 4.2



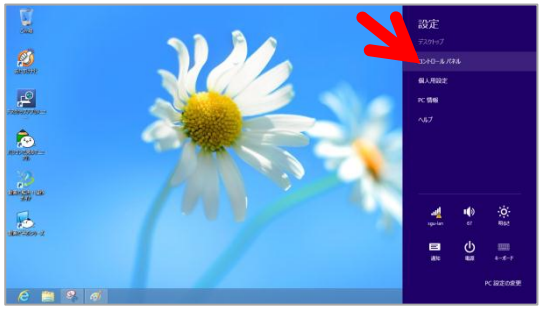
１９．　　ユーザーパスワード設定

パソコンにユーザーパスワードを設定しましょう。

① デスクトップ画面でチャームを表示します。

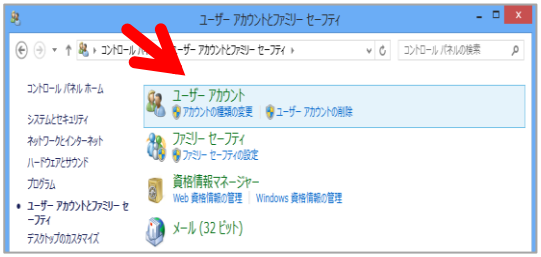
② 設定ボタンをクリックします。

③ 「コントロールパネル」をクリックします。

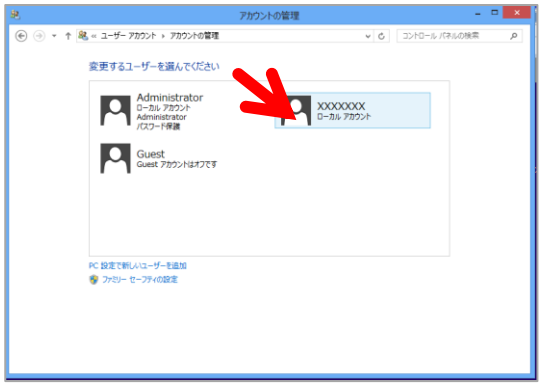


④ ユーザーアカウントとファミリーセーフティをクリックします。

⑤ ユーザーアカウントをクリックします。

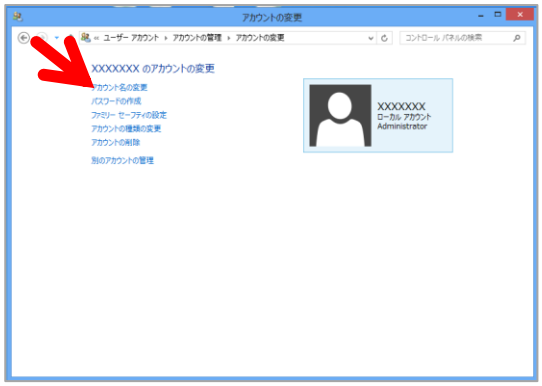


⑥ パスワードを設定するアカウントをクリックします。



⑦ 「パスワードの作成」をクリックします。

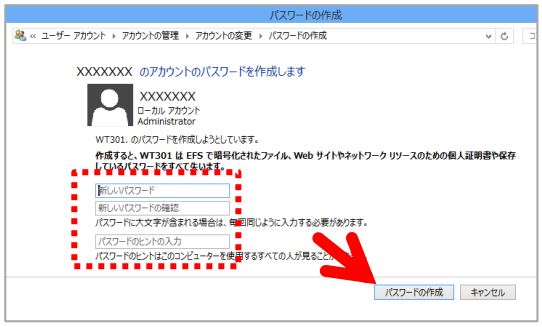
※すでにパスワードが設定されている場合は、「パスワードの変更」と表示されます。



⑧ 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」欄にパスワードを入力します。

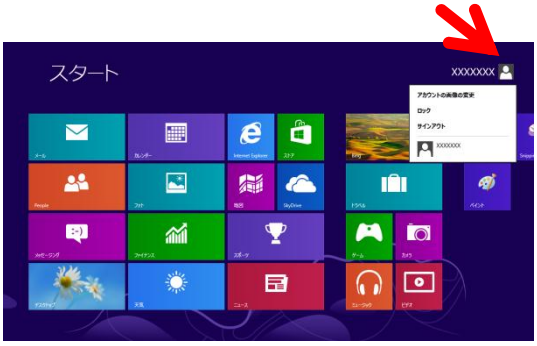
⑨ パスワードのヒント欄にヒントの語句を入力します。

⑩ パスワードの作成ボタンをクリックします。



２０.　　ユーザーアイコン画像の変更

仮の画像が表示されているユーザーアイコンを変更しましょう。

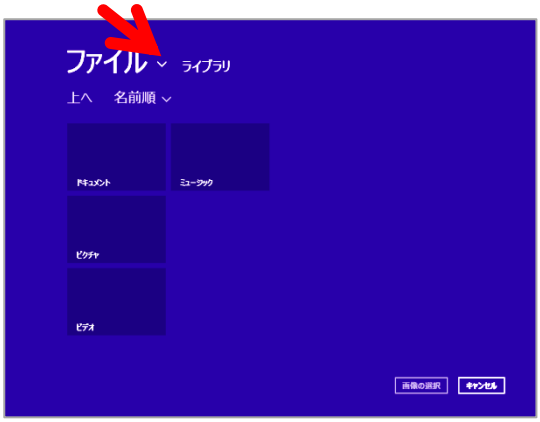


① スタート画面のユーザーアイコンをクリックします。

② アカウントの画像変更をクリックします。

③ パーソナル設定をクリックします。

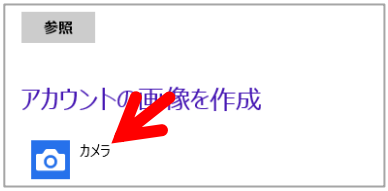
④ 参照ボタンをクリックします。



⑤ あらかじめ設定する画像が保存してあるフォルダを指定します。

ドキュメントフォルダや、 V をクリックし、フォルダを移動して下さい。

⑥ ユーザーアカウントに設定する画像をクリック後、「画像の選択」ボタンをクリックします。



⑦ 参照ボタンの下のカメラボタンをクリックすると、Webカメラを使い自分の写真を撮影して設定することができます。

２１．　TransferJet™（トランスファージェット）

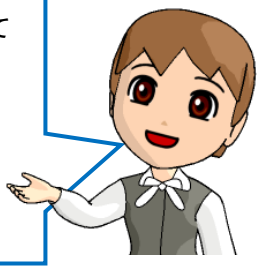
TransferJet™とは、「トランスファージェット」対応の機器同士を近づけるだけでデータをやりとりすることができる「近接無線通信技術」を使用したデータ転送です！

通信距離が短いため、データ漏洩の可能性が低く、難しいセキュリティ設定は不要です。

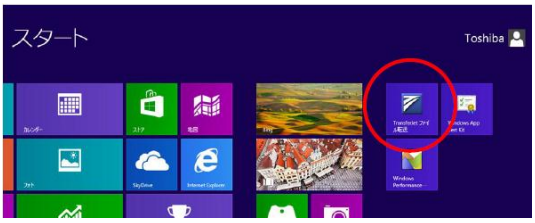
TransferJet ™規格に対応した MicroSDIO と専用の転送ソフトウェアがインストールされているパソコン同士で通信します。TransferJet ™を使うと、CD１枚700MB 近くのデータを約１５秒で転送できます。授業で使うデータや、思い出の写真を、パソコン同士を近づけるだけで簡単に送受信することができます。

① TransferJet 転送ユーティリティをインストールします。

本ソフトウェアをご利用頂くには、予めパソコンにファイル転送ソフトをインストールする必要があります。下記、東芝のホームページにて 2013 年 4 月 21 日(日)よりダウンロード開始予定です。
http://dynabook.com/assistpc/download/tjsd/index_j.htm
※　現在開発中につき、開始予定が変更になる場合がございます。
何卒ご了承ください。



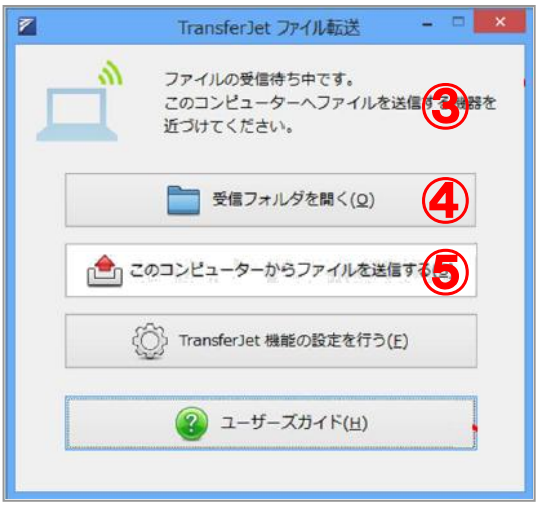
② インストール後、スタート画面に「TransferJet ファイル転送」アイコンが追加します。



③ 「受信待ち」「通信中」「通信カード未挿入」など現在の状態が表示されます。

④ 受信したファイルが保存されたフォルダを開きます。

⑤ ファイル送信のために、ダイアログを開きます。

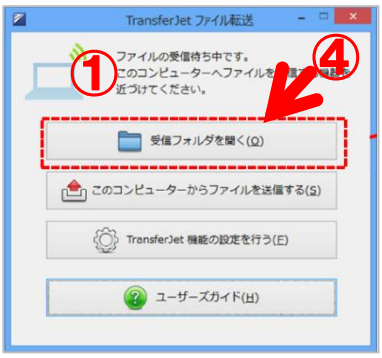


（1） 受信操作

① 図①が受信待ち状態であることを確認します。

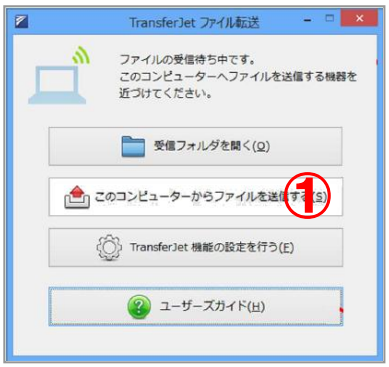
② 送信側と受信側のパソコンの、通信カードが挿入された SD スロットを近づけます。

③ 自動的に受信がスタートします。



④ 受信ファイルは規定のフォルダに格納されます。メイン画面から「受信フォルダを開く」をクリックすると、受信ファイルが格納されたフォルダをエクスプローラで開きます。　　④ボタンをクリックすると開きます。

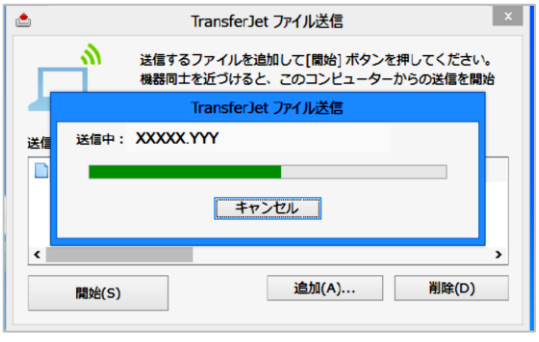
（2） 送信操作



① 図①の「このコンピューターからファイルを送信する」をクリックし、送信ダイアログを開きます。

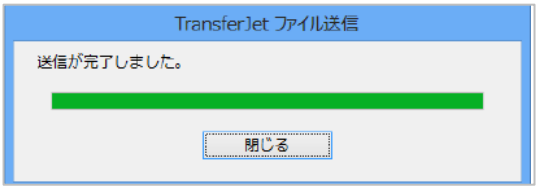
② 送信するファイルをリストに追加します。
操作は2種類あり、下記のいずれかの方法で追加します。
「追加」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログを開き、送信するファイルを選択
送信するファイルをドラッグし、送信ダイアログにドロップ

③ 開始 ボタンをクリックします。



④ 受信側のパソコンが受信状態（待ち受け状態）になっていることを確認します。

⑤ 通信カードが挿入された SD スロットを、ファイル転送先のパソコンの SD スロットに近づけます。
自動的にファイル転送がスタートします。



⑥ 送信が終了すると、ダイアログボックスが表示します。 閉じる ボタンをクリックします。

dynabook R732

2013年4月15日

東芝情報機器株式会社